

パワモル 施工要領

1. 下地処理

施工面の不純物・脆弱部を除去すると共に表面の塵埃、レイトンス等をサンダー及び高圧水洗浄等で除去して下さい。

露出鉄筋の防錆処理が必要な場合は、別途、事前に処理しておいて下さい。

2. 材料の混練り

・標準配合・使用量

品名	荷姿	標準配合水(ℓ/袋)	粉体使用量		施工可能面積
パワモル	20kg/袋	3.0~3.5 ℓ	10mm 厚	17kg/m ²	1.17m ² /袋
			30mm 厚	51kg/m ²	0.39m ² /袋

・はじめに混練用容器(ペール缶など)を用意し、最低限度の標準配合水(3.0 ℓ)を投入して下さい。

・次に材料を少しずつ加えながら、ダマができないようにハンドミキサーで3分間、丁寧に練り上げて下さい。

・必要に応じて、標準配合水の範囲内で作業目的に応じた粘度に調整して、ご使用下さい。

・材料の可使時間は、夏季30分、標準60分程度を目安として、その時間内に使い切れる量を混練して下さい。

3. 塗り付け作業

①下地施工面を適度に水湿して、湿潤状態にしてから塗り付けを行って下さい。

* 下地コンクリートの吸水が激しい箇所では、吸水調整材(ファインコートP)を塗布して下さい。

※セメンテックス C-360 は絶対に吸水調整材(プライマー)として使用しないで下さい。

※使用した場合、接着不良・浮きが生じることがあります。

②下地に良くなじむように材料を十分にこすり付けて下さい。

③1回あたりの塗り厚は平面部で20mm、欠損部で40mmを限度として下さい。

④塗り重ねる際は、指触硬化(指の押し跡が残らない程度の硬化)した後、次の層を塗り重ねて下さい。

⑤可使時間内に材料が引き締まってきた場合、少量の水で練り返して使用して下さい。

⑥施工後は、直射日光などによる急激な乾燥を避けるよう注意して下さい。また、厳寒期には凍結対策として防寒養生を行って下さい。

4. 使用上の注意事項

・施工は、気温5~35℃の範囲内で行って下さい。

・練り混ぜ水は清水を使用して下さい。

・施工中や養生中に降雨・降雪の影響を受けることが予想される場合には、施工を避けて下さい。

・材料は、直射日光を避け、雨掛かりせず、湿気の少ない場所にパレット等を敷いて、通風を良くして保管して下さい。

・本商品は、強いアルカリ性を示しますので、皮膚に触れたりした場合、水で洗い流して下さい。